

# 西洋貴重書保存インデックスについて

2019年4月12日

一橋大学社会科学古典資料センター 馬場幸栄

## 1. 趣旨

西洋貴重書を学術的・文化的な資料として活用しつつ人類共通の文化財として永く後世へ伝えてゆくためには、保存管理についての適切な政策・環境・メソッドに基づいた目標の設定・実現・維持が不可欠です。しかし、西洋貴重書を収蔵・管理する機関が「自身が掲げる目標にどれだけ到達できているか？」また「そもそもその目標が適切かつ十分なものであるかどうか？」という問いについて自身で診断するのは容易ではありません。そこで、西洋貴重書収蔵館の保存管理に関する自己点検・自己評価を手助けするため、指標（インデックス）を作成し、「西洋貴重保存インデックス」（以下、「インデックス」と名付けました。

## 2. 先行研究

「インデックス」の質問項目作成に際しては、『IFLA 図書館資料の予防的保存対策の原則』（アドコック編，国立国会図書館訳，2003）、ed. by Alex Dawson, *Benchmarks in Collections Care for Museums Archives and Libraries : A Self-assessment Checklist (Benchmarks in Collection Care 2.1)* , Collections Trust, 2018 (<https://326gtd123dbk1xdkdm489u1q-wpengine.netdna-ssl.com/wp-content/uploads/2016/09/Benchmarks-in-Collections-Care-2.1-1.pdf> 最終閲覧日 2018年10月12日)、『情報と保存の活用のためのJHKダイレクトリ 2018年版』（情報保存研究会，2018）を参考にしました。また、評価の加点方法については、*Benchmarks in Collections Care* が採用している三段階評価を参考にさせていただきました。

## 3. 利用方法

ウェブサイト「西洋貴重書保存インデックス」にアクセスすると、50の質問項目が表示されますので、アンケート感覚でそれらの質問に答えてください。50問すべて回答するのに、およそ10分から15分かかります。答えは、「できている」（2点）、「ややできている」（1点）、「できていない」（0点）からどれかひとつを選んでください。

質問項目は「組織」「閲覧」「セキュリティ」「環境」「複製」の5つのジャンルにわかれており、ジャンルごとに10の質問が用意されています。各ジャンルの合計点は最高が20点、全ジャンルの総合点は最高が100点です。

すべての質問に答えて「送信」ボタンをクリックすると、「レーダーチャート」「総合

点」「50の質問とそれに対する自分の回答の一覧」の3つを見ることができます。未回答の質問項目がひとつでもあると、エラーになります。未回答の質問項目に戻って、すべての質問に回答してから、もう一度「送信」ボタンを押してください。なお、途中で回答を保存することができませんので、ご注意ください。

評価結果はPDFファイルでダウンロードすることができます。この評価結果を参考にしながら、自分の機関における西洋貴重書保存管理の政策・環境・メソッドを見直してみてください。

#### 4. 全国的平均値との比較を希望される方へ

この「インデックス」で得られた評価結果を、全国的な評価結果の平均値と比較してみたい、という方もいらっしゃるでしょう。一橋大学社会科学古典資料センターでは、「インデックス」による評価結果を提供してもよいという機関にデータをご提供いただき、それらを集計・分析します。分析結果は、評価結果データの提供にご協力いただいた機関に対して公開します。

同一機関が調査期間内にデータを複数回提出してしまった場合は、期限までに提出したデータのうち最も新しいものが採用されます。なお、たとえば同じ大学でも、中央図書館と研究室図書室がそれぞれデータを提出された場合は、それらは別の機関のデータとして取り扱われます。

#### 5. 細かい数値が示されていない理由

西洋貴重書の保存管理に関する理論や方法は年々進化しています。かつては常識とされていたものが、現在では非常識となっているものも少なくありません。そのため、「インデックス」の質問項目では、温度、相対湿度、照度などについて具体的な目標数値を示すことをなるべく控えています。そのかわり、それらの目標数値に関する情報が掲載されている文献やウェブサイトをご紹介しますので、ぜひそれらの文献やウェブサイトをご参照ください。

#### 6. 西洋貴重保存インデックスについてのお問い合わせ

一橋大学社会科学古典資料センター  
koten@lib.hit-u.ac.jp

## 参考資料

### < 文献 >

Published by Collections Trust, Editor: Alex Dawson  
“Benchmarks in Collections Care 2.1” (2018; minor updates to 2011 edition)  
<<https://326gtd123dbk1xdkdm489u1q-wpengine.netdna-ssl.com/wp-content/uploads/2016/09/Benchmarks-in-Collections-Care-2.1-1.pdf>>  
(最終閲覧日 2018-10-12)

Preservation Advisory Centre, The British Library (2013)  
“Using library and archive collections”  
<[https://www.bl.uk/aboutus/stratpolprog/collectioncare/publications/booklets/using\\_library\\_and\\_archive\\_collections.pdf](https://www.bl.uk/aboutus/stratpolprog/collectioncare/publications/booklets/using_library_and_archive_collections.pdf)>  
(最終閲覧日 2018-10-12)

UK Registrars Group (2015) “Standard Facility Report”  
<[https://www.ukregistrarsgroup.org/wp-content/uploads/2015/12/UKRG\\_facilities\\_report.pdf](https://www.ukregistrarsgroup.org/wp-content/uploads/2015/12/UKRG_facilities_report.pdf)>  
(最終閲覧日 2018-10-12)

The National Archives (2004) “The National Archives’ standard for record repositories”  
<<http://www.nationalarchives.gov.uk/documents/archives/standard2005.pdf>>  
(最終閲覧日 2018-10-12)

エドワード・P・アドコック編集，マリー＝テレーズ・バーラモフ，ヴィルジニー・クレンプ編集協力，国立国会図書館訳，木部徹監修（2003）『IFLA 図書館資料の予防的保存対策の原則』，シリーズ本を残す 9，日本図書館協会。  
<<https://www.ifla.org/files/assets/pac/ipi/ipi1-ja.pdf>>  
(最終閲覧日 2018-11-22)

Compiled and edited by Edward P. Adcock with the assistance of Marie-Thérèse Varlamoff and Virginie Kremp (1998) “IFLA Principles for the Care and Handling of Library Material”  
<<https://www.ifla.org/files/assets/pac/ipi/ipi1-en.pdf>>  
(最終閲覧日 2018-11-22)

情報保存研究会（2018）『情報と保存の活用のための JHK ディレクトリ 2018 年版』情報保存研究会。

### < 動画 >

Folger Shakespeare Library (2011) “Handling Rare Materials”  
<<https://www.youtube.com/watch?v=5NWyruNYILw>>  
(最終閲覧日 2018-11-22)

Preservation Advisory Centre, The British Library  
Collection Care videos  
<<https://www.bl.uk/aboutus/stratpolprog/collectioncare/publications/videos/index.html>>  
(最終閲覧日 2018-11-22)